

第1回 行田市総合教育会議

議題(1) 義務教育学校について

No	期日	視察先	所在地
1	令和6年7月8日	つくば市立みどりの学園義務教育学校	茨城県つくば市
2	令和6年10月16日	姫路市立白鷺小中学校	兵庫県姫路市
3	令和7年4月30日	太田市立北の杜学園	群馬県太田市
4	令和7年9月22日	さいたま市立大宮国際中等教育学校	さいたま市

つくば市立みどりの学園義務教育学校



- 開校日 平成30年4月1日
- 学校種 義務教育学校
- 施設形態 施設一体型
- 学校規模（令和7年5月1日時点）

前期	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
	244	249	257	269	216	202	1,437

後期	7年	8年	9年	合計	児童生徒数合計
	192	171	115	478	1,915

〈沿革〉

TX沿線開発に伴い、みどりの駅周辺地区の子育て世帯流入が著しいため、平成30年4月に新設

- 文部科学省リーディングDX推進校（令和5年度）
- 文部科学省AIパイロット指定校（令和5年度）
- パナソニック教育財団特色研究指定校（令和6年～7年度）

● 学年の区切り

6-3制※教育課程において4-3-2制を導入

● 特色

- ・独自教科「つくばスタイル科」を実践

9年間の学びの連続性を生かし、発達段階に応じて系統的にICT教育、プログラミング教育、STEAM教育、英語教育、アクティブラーニングなどを展開

姫路市立白鷺小中学校



- 開校日 平成30年4月1日
- 学校種 義務教育学校
- 施設形態 同一敷地内施設隣接型
- 学校規模（令和6年4月18日時点）

前期	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
	108	112	124	97	111	112	664

後期	7年	8年	9年	合計	児童生徒数合計
	71	73	70	214	878

〈沿革〉

- 平成21年4月 城南小学校、城巽小学校を再編し、白鷺小学校を開校
 白鷺小学校・白鷺中学校を小中一貫教育推進モデル校としてスタート
- 平成30年4月 義務教育学校 白鷺小中学校開校

● 学年の区切り

6-3制

※異学年交流の際は、4-3-2の区切りで実施し、区切りに応じてリーダーシップの育成を図っている。

● 特色

- ・探求的な学びを重視。コミュニティスクールを活用し、地域の企業人などを招へいし、キャリア教育にも注力。

太田市立北の杜学園



- 開校日 令和3年4月
- 学校種 義務教育学校
- 施設形態 施設一体型
- 学校規模（令和7年5月1日時点）

前期	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
	68	86	79	82	81	73	29	498

後期	7年	8年	9年	特支	合計	児童生徒数合計
	82	77	77	14	250	748

〈沿革〉

令和3年4月 太田東小学校、韮川西小学校、北中学校の3校を統合して開校

● 学年の区切り

2－2－3－2制

※各区切りの教育活動において、児童生徒が活躍できる場を設定し、リーダーシップやフォローワーシップを育成

● 特色

- 3、4年生から一部教科担任制（45分授業）、5年生から完全教科担任制（50分授業）を段階的に導入
- 区切りを意識したフロア構成及び諸室を配置

さいたま市立大宮国際中等教育学校



- 開校日 平成31年4月
- 学校種 中等教育学校
- 施設形態 施設一体型
- 学校規模 (令和7年5月1日時点)

前期	1年	2年	3年	合計
	160	160	155	475

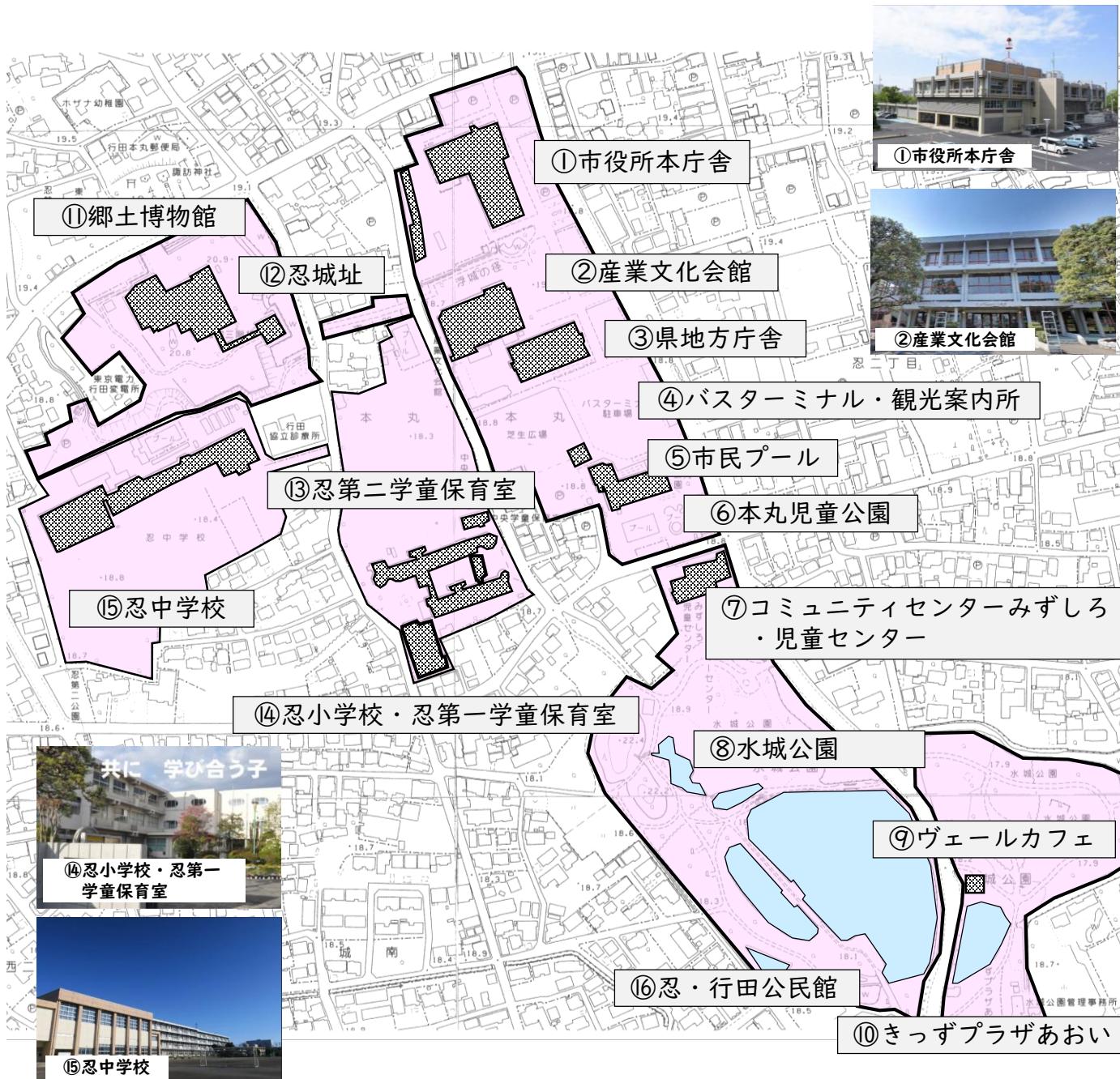
後期	1年	2年	3年	合計	生徒数合計
	157	152	150	459	934

〈沿革〉

平成31年4月 市立大宮西高校を完全中高一貫6年制の中等教育学校に移行

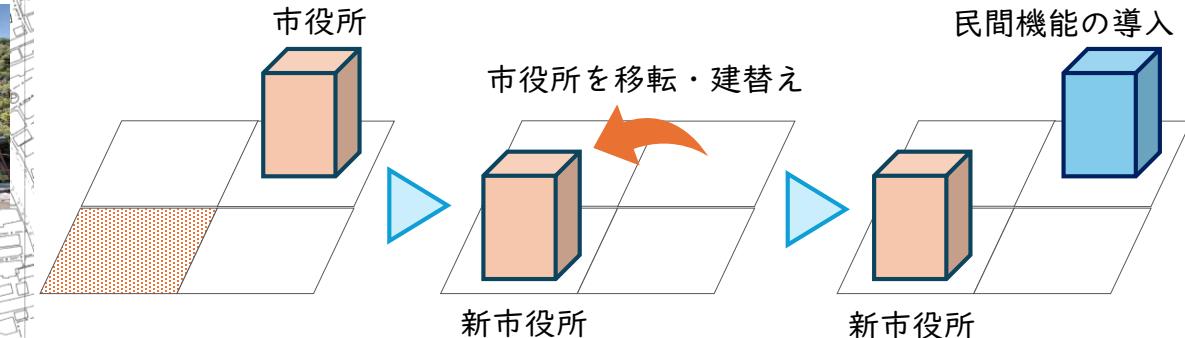
● 特色

- ・県内初にして唯一の公立中等教育学校
- ・国際バカロレア（IB）の教育プログラム認定校として、課題解決型の探究的な学びを推進
- ・中等1年生から4年生までの4年間は基礎力を育み、中等5・6年生は3つのコース（Liberal Arts、STEM、Global）に分かれ、2年間で応用力を磨いていく
- ・中等1年生から4年生は、朝の時間帯に英語で様々な活動に取り組む（All English）



老朽化した公共施設の移転・建替えを起爆剤とし、官民連携による連鎖的なまちづくりを目指します

【整備イメージ】



【今後のスケジュール】※PFIイメージ

令和 7 年度

- ・市内企業向け官民連携勉強会
- ・市民向けワークショップ等
- ・企業向けサウンディング調査

中心市街地再編・再整備に係る

基本構想・基本計画 策定

令和 10 年度 事業者選定手続き

設計・除却・建設

学校再編による跡地を有効活用し、
「新しい行田の地図」を作っていく